



「THE免震®～ワイドレンジシステム～」の構成



構造計画や構造設計上の要点について

構造計画の立案にあたっては、巨大地震時にも入力が増大しないTHE免震®の効果を最大限活かす開放的な建築の実現を目標とした。地域に開きながらも寮生のプライバシーを確保する象徴的な外殻フレームを目指し、1.9m間隔に配置される寮空間の間仕切りと同じ間隔でRC柱を設けた。さらにRC柱形状を台形とし、その鋭角の向きを上下（階毎）・水平とも交互に配置することにより、地域に表情をつくり出すと同時に開放感を与えた象徴的な外観を実現した。

内部は5.7m×5.7mを基本グリッドとした厚さ280mmのフラットプレート構造に細いS柱を設ける構造計画とした。一部にはボイドスラブの採用により、エントランスや一部の共用リビングでは、最大11.4m×7.6mスパンを同厚のフラットプレートで成立させ、基本グリッドだけではない変化に富んだ使いやすい空間を実現した。また、ホール上部は鉄骨梁とし、15.2mの無柱空間を実現した。以上は免震システムの採用により実現することができた。



赤澤 資貴 株式会社竹中工務店設計部構造部門
担当者コメント

新たな免震システムの開発とともに、免震構造の特性を活かして上部架構にも多くのチャレンジに取り組み、象徴的な外観と開放的でフレキシビリティの高い内部空間を実現することができた。

建築設計：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
構造設計：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
鈴木直幹・山本俊司・赤澤資貴・赤堀巧
施工：株式会社竹中工務店
計画地：兵庫県神戸市